

秀品収穫は
苗美人から。

2022年10月12日
新規登録
拡大!

すばやく根から吸収される苗灌注1回で、速効食害停止&約1ヶ月残効!
悪い虫をつけさせない。



主な適用害虫



* 株元灌注の場合は作物体になるべく薬液がかからないよう処理してください。

薬害事例ゼロ!	トマト	ミニトマト	きゅうり	なす
	ピーマン	メロン	すいか	キャベツ
	はくさい	ブロッコリー	レタス	ねぎ
	ほうれんそう	いちご		

野菜灌注用殺虫剤

ベジマーク® SC

powered by
CYAZOPYR®
ACTIVE INGREDIENT

ジアミド剤のプロ FMCの卓効成分
シアントラニプロール(通称:サイアジビル®)を18.7%高配合!



特長 1 卓効でおなじみのジアミド系有効成分シアントラニプロール(通称:サイアジピル[®])を、ぜいたくに**18.7%配合!**

特長 2 まとめて**簡単&手間いらずの灌注処理**で、撒いたそばから**食害を停止させる速効性!**

特長 3 幅広い**難防除・抵抗性・重要害虫**に有効!
約3~4週間の長い残効性!

特長 4 発売以来、**薬害事例ゼロ!** マルハナバチ、天敵にも**高い安全性!**

水やりと同様方法!

動噴で
(一般的な灌水ノズル、水圧弱め)、
約**500株**をおよそ**1分**で
処理できます!*



*株元灌注の場合は作物体になるべく薬液がかからないよう処理してください。
※丸ハスロノズル(吐出量5石=15L/分)、8.5mm径スプレーホース、ポンプ圧力(0.2MPa)、吐出量(12L/分)、ベリマークSC希釈液処理水量10L(25ml/株)の場合



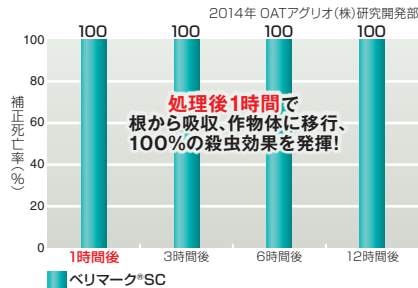
これまでは、粒剤をまいていましたが、**水に溶けて効果を発揮するまでの時間に、コナジラミにやられないか心配**でした。ベリマーク[®]SCの灌注処理なら、**水に溶かした成分がすぐに吸われるから、安心感が違います。**



熊本県玉名市 梅野治行さん

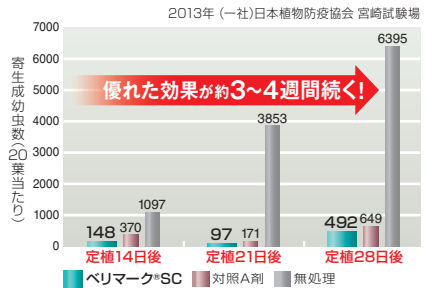
※コメントは取材当時の個人の感想です。本内容は2016年3月取材時のものです。

■ 孵化幼虫に対する効果 (キャベツ/ハスモンヨトウ)



【試験概要】◎試験期間:5月8日~5月12日 ◎対象作物:キャベツ(四季種) ◎播種日:4月8日 ◎定植日:5月7日 ◎区制:1区 2株 2反 ◎処理日:5月7日 ◎処理方法:ベリマークSCは400倍に水道水で希釈し、キャベツの株元に株当たり25mlを灌注した後、追土を充填したプランター(25cm×12cm×15cm)に定植し、ガラス温室内で底面給水にて管理した。◎放虫方法:処理1,3,6,12時間後に第3葉をサンプリングし、孵化直後の1齢幼虫を20頭ずつ放虫して恒温室(25℃±2℃)に静置した。◎調査方法:放虫4日後に生虫数をカウントして補正死亡率を算出した。

■ コナジラミ類への効果 (トマト/タバココナジラミ バイオタイプQ)



【試験概要】◎品種:桃太郎ファイト ◎区制:1区 14株 3反 ◎発生程度:少→多発生 ◎播種日:4月19日 ◎定植日:5月31日 ◎処理日:5月28日(定植3日前) ◎処理方法:ベリマークSCは800倍希釈液をポットあたり50ml株元に灌注。対照A剤は株当たり2gを株元に散布。◎処理時の作物ステージ:育苗期(草丈30cm程度、本葉7~8枚) ◎調査日:定植14日後(6月14日)、21日後(6月21日)、28日後(6月28日) ◎調査方法:区内中央付近10株について株当たり2葉集(合計20葉集)に寄生する4齢幼虫および成虫を調査。

■ 適用害虫と使用方法

2022年10月12日現在

作物名	適用害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
きゅうり	アブラムシ類	400株当たり 25ml	400株当たり2~20ℓ(1株当たり5~50ml)	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は3回以内)
	アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類		400株当たり10~20ℓ (1株当たり25~50ml)				
トマト ミニトマト	アブラムシ類、アザミウマ類 コナジラミ類、ハモグリバエ類		400株当たり10ℓ(1株当たり25ml)				
ピーマン	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類 コガネムシ類		400株当たり10ℓ(1株当たり25ml)				
なす	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類 ハモグリバエ類、ネキリムシ類		400株当たり10~20ℓ (1株当たり25~50ml)				
メロン すいか ししとう	アブラムシ類、アザミウマ類 コナジラミ類		400株当たり10ℓ(1株当たり25ml)				

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ、アブラムシ類、アザミウマ類 ネキリムシ類、ウババエ類	400倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ) 当たり0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は3回以内)
ブロッコリー	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ アブラムシ類、アザミウマ類						
はくさい	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ カブラハバチ類、アブラムシ類						
レタス 非結球レタス	オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ヒメフタテンヨコバイ ハモグリバエ類、アブラムシ類、ウババエ類						
カリフラワー しそ	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ アブラムシ類						
ねぎ	タマネギバエ、タネバエ、ネキリムシ類 シロイチモジヨトウ、アザミウマ類、ハモグリバエ類 シロイチモジヨトウ、アザミウマ類、ハモグリバエ類、ネキリムシ類						
ほうれんそう	ハスモンヨトウ シロオビノメイガ、アブラムシ類	2000倍	0.5ℓ/m ² 0.1ℓ/m ²	収穫7日前 まで	1回	株元灌注	1回
非結球 あぶらな科 葉菜類(こまつなを除く)	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	4000倍	0.2ℓ/m ²				
いちご	ハスモンヨトウ	1000倍	25~50ml/株	育苗期後半	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	ハスモンヨトウ、アザミウマ類、コナジラミ類、コガネムシ類		50ml/株	育苗期後半			
	アブラムシ類		25~50ml/株	~定植当日			

●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。
●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。●防除日誌を記載しましょう。

©2022 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC, FMCO, ㊟を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。



丸和バイオケミカル株式会社

■本社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
☎03-5296-2314 <https://www.mbc-g.co.jp>
お問い合わせ窓口/☎03-5962-9731
(平日9:00~17:00祝祭日を除く)

■札幌/☎011-222-1285
■仙台/☎022-261-1103
■名古屋/☎052-951-7234
■大阪/☎06-6484-6850
■福岡/☎092-714-7101



わかりやすい製品説明
動画はこちら



製品情報は
こちらから